



INDONESIA N&R HIROSE

Chofu Bible Baptist Church, Tokyo, Japan

Japan Baptist Bible Fellowship

2022年12月～2023年5月

「ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す。」伝道11章1節

ご報告が遅れましたことをお詫びいたします。「愛」かわらずの御禱援、御支援を賜り、感謝いたします。

1. 新型コロナ後 2022年12月



新型コロナの規制がほぼすべて解除となり、集会にも人が戻り始めました。その先頭を切ったのは子どもたちです。スタバツ伝道所周辺のクリス教徒の家庭から水曜子ども会に送られてくる子たちが10～15人ほどまで回復。12月はじめに行われた3年ぶりの対面クリスマス子ども会には50名以上が集まりました。数年前作成のスタバツ伝道所オリジナルのミュージカル「人間をとる漁師になるペテロ」再演で、集まった子どもたちやその家族も一緒に参加、喜んで歌いながら御言葉を覚え、主のために働く決心を招きで応答していました。成長を祈りつつ、家庭向けの働きが更に開かれることを祈っています。

ビンジェイ教会、スタバツ伝道所では、就学、就職先を近隣で得られない青年たちが国内遠方のみならず国外に出ていかざるを得ず、教会の働き人も後続の新人が与えられないままに減少傾向です。働き人が送られるようにとの緊急要請の祈りが収穫の主にささげられています。

2. フェロシップキャンプ2023年1月

コロナで開催できずにいた毎年恒例のフェロシップキャンプも、今年3年ぶりに再開。令子と二人、御言葉の御用のお招きをいただき、ジャカルタに行ってきました。伝道者、一般信徒奉仕者を含めて行われるこのキャンプは、テーマ「キリストの再臨に向けて備える」に沿って3回の集会メッセージと3回の



セミナー(内1回が女性向け)。

ジャカルタ滞在中の日曜集会では、プルタマ教会(マルコス牧師)とエベネゼル教会(マルコス師の甥アベデネゴ牧師)にお招きを受け、世代交代の進んでいる様子を拝見。主が与えてくださっている賜物が生かされる教会の素晴らしさを学ばせていただきました。

プルタマ教会から派遣されメダン北部伝道を助けてくれていたファスリ兄が、スマトラ南部の教会に招聘され、代わりにイルワン兄が派遣されることになりました。

2024年のこのフェロシップキャンプは、メダン・ビンジェイ諸教会が主催者となりメダン市で行う予定です。佐藤海外宣教委員長にスピーカーの一人となって参加していただきます。

3. 一時帰国

日本から宣教大会のメッセージのお招きをいただき、また実家の母の衰えの知らせも聞き、一時帰国させていただきました。しばらくご報告にうかがえておりませんでした教会にご連絡させていただきながら、訪問を続けております。

改めて、主の御旨を共に求めつつ心をつなげての交わりのすばらしさをかみしめつつ、福音を今一度、深く学び直さなければと思っています。

日本に来てまもなく、ビンジェイ教会マナル牧師家族の末っ子アブラム兄がバイク事故で召天したとの知らせを受けました。貴重な青年働き人であった彼がなぜこの時に？という思いが心を占めました。天国への希望がなおさら強く起こされる中、ビンジェイ教会付属小学校の生徒たちも、恵みの内に与えられる希望のメッセージを身近に経験する時となったようです。

母は要介護度2の認定を受け、中学校教師をしている弟は4月の異動で実家から徒歩10分ほどの学校に移ることが許され、主のあわれみの内になんとか支えられています。3月、5月と帰省するたびに、母は目に見えて衰えてきています。なかなか証しが伝わらない状態です。救いのためにお祈りいただければさいわいです。

主イエスの恵みが共にありますように

2023年6月1日 広瀬憲夫 令子

